

政務レポート

りれーしょん

2011年5月30日
鳥取県議会議員
砂場隆浩
鳥取市片原1-107

「Relation」とは1605年、ストラスブールでヨハン・カロルスが世界で初めて創刊した新聞です。直訳すれば「関係」。つまり、架け橋という意味があります。

新会派結成、議会に新風

会派名は「かけはし」 4議員で交渉団体



左から私、森岡さん、長谷川さん、国岡さん

福祉生活の副委員長

議会運営委員会にも所属

鳥取県議会は5月9日、改選後初の本会議となる臨時会を開き、議長に自由民主党の伊藤美都夫さん(倉吉市選挙区選出)、副議長に同会派の稲田寿久さん(米子市選挙区選出)を選出しました。議員の各常任委員会への所属も決まり、私は議会運営委員会と福祉生活病院常任委員会に所属することになりました。同常任委員会も同日開催され、委員長に会派「絆」の浜田妙子さん、そして、副委員長には私が選ばれました。

議長、副議長選挙は無記名投票ですから、誰が、誰に入れたかはわかりません。しかし、伊藤議長は23票で、落選した絆の福岡裕隆さん(西伯郡)は12票で

と、少数意見が通りにくくなるかと心配しています。初議会後、公明党議員団のみなさんと懇談したのですが、「県議会は鳥取のため、政党の立場より、政策本位で議論していくことが大切」との考えを強くお持ちとお聞きし、少し安心しました。「かけはし」は、既存政党とは一線を画し、県民党の立場です。ですから文字通り、大会派と少数会派の架け橋となり、小さな声こそ大切に県政へ届けたいと考えています。

会派では政調会長

会長に長谷川氏、幹事長森岡氏、副会長国岡氏

倉吉市選出の長谷川裕さん、境港市選出の森岡俊夫さん、八頭郡選出の国岡智志さんの3人と私とで、会派「かけはし」を結成し、4日28日午後2時、会派届

を県議会事務局に提出しました。

鳥取県議会では県議4人以上の会派を交渉団体といえます。本会議で代表質問ができるほか、議会運営委員会や代表者会議にメンバーを送れ、議員活動で、大きな意味を持ちますから、知事ら執行部の対応も違ってくるはずで、

会派の名前である「かけはし」は、県民のみなさんと県政を結ぶ架け橋になりたい。未来へと続く架け橋になりたい。鳥取県の各市町村を繋ぐ架け橋になりたい。議会内の各会派をつなぐ架け橋になりたい……。そんな思いから付けた名前です。

会派の会長には元倉吉市長の長谷川さん。副会長には初当選の国岡さん、幹事長は2期目の森岡さん、そして、私が政務調査会長という布陣を決めました。

県議会の会派構成は、自由民主党が17人、民主党議員でつくる「絆」が6人、私たちが会派「かけはし」が4人で、ここまですが議会内の交渉団体です。そして、公明党議員団が3人で、共産党が2人、残る3人が1人会派をそれぞれ結成されました。